

龍神けいすけ 活動/議会レポート

Vol. 9 | 2022年9月議会

政策に対する考えを発信していきます。
みなさんのご意見ご要望
お待ちしております！

未来に
種を蒔こう！



活動 報告

多胎育児支援について

所属する自民党三重県連青年局では、定期的にその時々の政策課題を持ち寄り、様々なかたちで知識のインプットをし、具体的な行動につなげるT&L活動を行っています。わたしはこの活動にかねてより携わっており、現在では青年局で青年部長をつとめています。最近では、要望活動などの具体的な動きにつながってきていることが嬉しいのです。

さて、今回は9月中旬に、以前から取り組んでいる多胎育児支援に関して、県政に要望を伝えてきました。

当日は、日頃から活動されている多胎育児サークルのみなさまを筆頭に、服部副知事および担当部へ直接のお願いにありました。おもいやり駐車場の利用拡大および多胎育児支援についての要望書と署名簿を

お渡しし、担当課とも意見交換をしました。ご協力いただいた県の方々に感謝します。

多胎育児については、豊田市の痛ましい事件が記憶にあたらしく、行政がなかなかカバーできていない分野です。青年局では、これまでも当事者の方にお話をうかがってきました。例えば、多胎育児は2人乗りベビーカーなどを使わなければならないため、公共交通機関を利用するのが大変だそうです。多胎育児に関する情報も少なく、社会ではまだまだ理解が進んでいない現状があります。

県には、市民の方々の声を政策に活かし、より使いやすいおもいやり駐車場を目指してほしいです。また、様々な政策につなげていただければと思います。



青年局メンバーとともに多胎育児に関する要望を伝えました。



当日は副知事をはじめ執行部の方と話をすることができました。

活動 報告

ライフジャケットの着用推進要望について



9月上旬には、自民党三重県連青年局の有志メンバーとともに、ライフジャケット着用推進に関して、県の教育委員会に直接の要望にうかがいました。

多胎育児のケースと同様に、政策調査を

具体的な活動につなげる青年局の活動の一環です。これまで、青年局では子どもの水難事故においてはライフジャケットの活用が重要であり、平時よりライフジャケットを着用する習慣をつけることが大切であることを学んできました。

県の教育長との対談の時間をいただき、各メンバーからも政策について意見を伝えました。また、当日は、ライフジャケット着用推進の運動を行っている「子どもたちにライフジャケットを！」団体代表である森重裕二さんが香川県からオンラインにて参加され、これまでの経緯や現状についてお話されました。



着用体験もしています。

青年局の活動が、水辺の危険性の周知やその対策、そしてライフジャケットを着用する習慣づくりの一助となることを願っています。

市政
報告

湯の瀬リニューアルオープン

リニューアルした「湯の瀬」に用いた「DBO方式」とは？

ピーク時には利用者が年間27万人を超えていた榊原温泉の旧「湯の瀬」。建築後30年以上が経過して施設の老朽化が進み、運営経費が増加するなか、公設整備と同時に民間活力の活用による多様な官民連携手法を検討し、「DBO方式」による事業者を募集することになりました。

●DBO方式とは？

自治体が資金を調達し、民間事業者に施設の設計、建設、管理を委ねる方式。利益により施設整備費を回収できる。

2022年8月、福祉型滞在やアンチエイジングを目指した施設としてリニューアルオープンしました。

新「湯の瀬」は見所満載！

新しい湯の瀬にはキャンパススペースがあり、レストランでは地元食材×ラム肉を使った料理が楽しめます。地元農産物の直売スペースも。全館バリアフリーの宿泊施設に加えて、多くの人から愛されてきた日帰り温泉も健在です。詳しい情報は公式ホームページに載っています。みなさん、

ぜひ足を運んでください！※「ラムちゃんパーク」という名称はラム肉にちなんでい

ラムちゃんパーク
榊原温泉 湯の瀬
〒514-1251
三重県津市榊原町6103番地
TEL 059-252-1313
<https://sakakibaraonsen.com/>



Topics 公民連携の手法

公民連携の手法は、PPP (Public Private Partnership) と総称します。一般にはPFI (Private Finance Initiative) という用語が知られており、さらにBTO、BOT、BOOという手法に細分化されます。今回用いられたDBO方式や、コンセッション事業（公共施設等運営事業）、指定管理者制度も、公民連携の手法のひとつです。

市政
報告

9月議会総務財政委員会質問

県政への要望について(DX関連)

龍神：市長による県政要望について、DX推進が新たに追加された。県政要望を上げたことが津市がこれから行うDX推進にどのような影響があるのか。

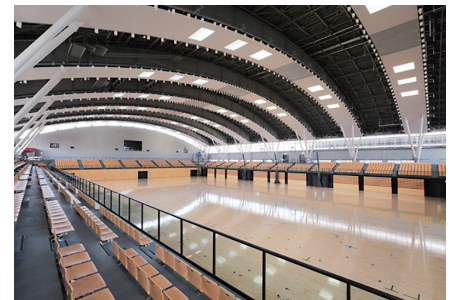
情報企画課長：広域で進めたほうが効率のいいもの、例えば申請システムなど、共同で整備していくものを要望している。いろいろなソフトウェアを津市が検証していくのはなかなか大変であるので、県に取り組んでほしい。またスケールメリットも期待できる。国のDX推進政策でも、県の役割は重要であるとされているので、今後も要望内容を注視していく。

屋内運動施設への空調整備について

龍神：スポーツ施設整備計画に関して、サオリーナの補完施設として4つの体育館があげられている。この点、夏の屋内スポーツを開催する際、熱中症の危険を考えれば、空調の整備を進めるべきだと考える。もちろん、当計画にも同様の趣旨が記載されているが、具体的な進め方などは決まっているか。

スポーツ振興課長：4つの体育館（久居体育館、芸濃総合文化センターアリーナ、安濃中央総合公園内体育館、一志体育館）については、機能向上をはかるため、大会等に活用可能な空調を整備する方向性で計画

にあげている。今後、パブリックコメント等の意見をふまえて、計画をつくっていく。具体的に、どのような手法、どのような期間というのはまだ確定していない。



サオリーナの他にも空調を整備した施設を。



龍神啓介プロフィール

1987年4月11日生まれ。三重大附属小中、津高校、慶應義塾大学法学部卒業。証券会社、アルバイト、政治家秘書を経て、2018年執行の津市議会議員選挙で初当選。「未来に種を蒔こう！」をキャッチフレーズに、個別最適化された教育、スポーツ文化の充実、自治体DXなどを旨として政策調査、政治活動を行っています。

お問い合わせ先

龍神けいすけ後援会

514-1113

津市久居野村町874-28（自宅）

Tel/Fax : 059-256-1509

E-mail : info@keisukeryujin.com

HP : keisukeryujin.com

HPやSNSで発信しています！

HP



Twitter
@kskrjn



facebook

